

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書

【新規策定】

- 1 三坂辺地 (庄原市西城町)
(計画期間：令和8年度～令和9年度 2年間)
- 2 山家辺地 (庄原市西城町)
(計画期間：令和8年度～令和12年度 5年間)
- 3 田森辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和8年度～令和9年度 2年間)
- 4 小奴可辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和8年度～令和12年度 5年間)
- 5 下高辺地 (庄原市高野町)
(計画期間：令和8年度～令和12年度 5年間)
- 6 三河内辺地 (庄原市比和町)
(計画期間：令和8年度～令和12年度 5年間)
- 7 五領辺地 (庄原市総領町)
(計画期間：令和8年度～令和12年度 5年間)

【変更】

- 8 小奴可辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和6年度～令和11年度 6年間)
- 9 永原辺地 (庄原市比和町)
(計画期間：令和6年度～令和10年度 5年間)

令和8年3月

広島県庄原市

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市西城町 三坂辺地
(辺地の人口 114 人、面積 17.8km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市西城町三坂

(2) 辺地の中心の位置

庄原市西城町三坂 5177 番地 17

(3) 辺地度点数

199 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 33 kmに位置しており、北は鳥取県に接し、急峻な山間の地形に集落が点在する地域である。

本地域に立地するひば道後山高原荘は、入浴施設（すずらんの湯）や休憩室・食堂・売店を備えた観光宿泊施設として、道後山等でのスキーやクロカンパークにおけるスポーツ合宿などで多くの方に利用されている。

当該施設は建設後、宿泊施設は 30 年、入浴施設は 21 年が経過しており、施設の長寿命化を図るため、屋根や外壁のメンテナンス、照明の更新、防水工事、ポンプ取替工事の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 9 年度までの 2 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業 債の予定額
施 設 名	事業主体名		特定財源	一般財源	
観光宿泊施設 (ひば道後山高原荘)	庄原市	72,020	-	72,020	71,900
合	計	72,020	-	72,020	71,900

総合整備計画書

広島県庄原市西城町 山家辺地
(辺地の人口 57 人、面積 9.5km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市西城町平子

(2) 辺地の中心の位置

庄原市西城町平子 675 番地 6

(3) 辺地度点数

114 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東北へ約 15km に位置し、標高 738m の四天蓋山南東に位置する山村集落で、主要地方道新市七曲西城線とそれに接続する市道に沿って細長く形成された集落である。過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著な地域である。

本地域の道路網については、一部区画で幅員が狭小かつ急カーブの個所があり、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道宮之谷 線)	庄原市	117,300	-	117,300	117,300
合	計	117,300	-	117,300	117,300

総合整備計画書

広島県庄原市東城町 田森辺地
(辺地の人口 465 人、面積 30.3km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町栗田、竹森

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町栗田 1330 番地 2

(3) 辺地度点数

153 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心から東北東へ約 56 kmに位置し、東は岡山県に接している。成羽川の支流である栗田川沿いに集落が点在する過疎化の進行が著しい農村地域である。

本地域の道路網については、幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしており、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 9 年度までの 2 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業 債の予定額
施 設 名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道追原中線)	庄原市	25,100	-	25,100	25,100
合	計	25,100	-	25,100	25,100

総合整備計画書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 922 人、面積 86.1km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町小奴可 2658 番地 3

(3) 辺地度点数

167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 kmに位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m以上に集落が点在する山間の農村地域である。

地域内を通過する国道 314 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業 債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道野田瀬 戸奥線)	庄原市	115,300	-	115,300	115,300
合	計	115,300	-	115,300	115,300

総合整備計画書

広島県庄原市高野町 下高辺地
(辺地の人口 398 人、面積 66.5km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市高野町奥門田、岡大内、下門田、上里原、高暮

(2) 辺地の中心の位置

庄原市高野町下門田 5059 番地 106

(3) 辺地度点数

117 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北西へ約 35 kmに位置し、西は島根県に接している。標高が高く、冬期は積雪が多い地域であるが、寒冷な気候を利用した農作物の生産が盛んである。

本市道は、高野町奥門田地域の幹線道路であり、主要地方道三次高野線と県道新市三次線を繋ぐ通勤通学路としても重要な路線である。

しかし、道路幅員が狭小であるため、一般車両の離合や地域バスの通行に支障をきたしている。また、冬期は積雪により通行が一層困難になることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道下高宮 内線(2工 区))	庄原市	115,700	-	115,700	115,700
合	計	115,700	-	115,700	115,700

総合整備計画書

広島県庄原市比和町 三河内辺地
(辺地の人口 162 人、面積 10.2km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市比和町三河内

(2) 辺地の中心の位置

庄原市比和町三河内 1418 番地 1

(3) 辺地度点数

261 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北へ約 21 kmに位置し、県道西城比和線に沿って形成されている集落である。耕地は少なく、山林面積が約 95%を占めている。

住民の多くは移動に自動車を利用しているが、市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や地域バスの運行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道南線)	庄原市	106,500	-	106,500	106,500
合	計	106,500	-	106,500	106,500

総合整備計画書

広島県庄原市総領町 五領辺地
(辺地の人口 188 人、面積 23.8km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市総領町五箇、上領家、中領家

(2) 辺地の中心の位置

庄原市総領町中領家 717 番地 1

(3) 辺地度点数

183 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から南東へ約 16km に位置し、平坦地が少なく、急峻な地形の中に数多くの小集落が点在する典型的な中山間地域である。

旧緑資源幹線林道支線高尾小坂線の庄原・三和区間の改良計画が中止となり、田尻地区と松山地区を連絡する道路整備の見通しが立たない状況であることから、この区間の迂回路確保を行うため、道路改良事業を実施し、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業 債の予定額
施設名	事業主体名		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道六郎木 線)	庄原市	81,100	-	81,100	81,100
合	計	81,100	-	81,100	81,100

総合整備計画書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 972 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串
- (2) 辺地の中心の位置
庄原市東城町小奴可 2658 番地 3
- (3) 辺地度点数
167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 km に位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m 以上に集落が点在する山間の農村地域である。

本市道は、小奴可辺地内の笑田地区と国道 314 号線を連絡する道路であり、地域住民の生活を支える重要な生活路線である。

しかし、一級河川成羽川に沿う本市道は、狭隘で屈曲部が多いため、車両の離合に支障があり、特に冬季は積雪も多く通行困難となる状況である。

また、法面からの落石も多く、緊急時における車両の通行が妨げられる危険性も高いことから、市民生活の向上、利便性・安全を確保するため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 11 年度までの 6 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道笑田線)	庄原市	165,567	—	165,567	165,500
合	計	165,567	—	165,567	165,500

総合整備計画書

広島県庄原市比和町 永原辺地
(辺地の人口 79 人、面積 7.2 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市比和町森脇

(2) 辺地の中心の位置

庄原市比和町森脇 312 番地 3

(3) 辺地度点数

119 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北へ約 23 km に位置しており、国道 432 号線に沿って形成されている集落である。

本市道は、国道 432 号線へ接続する生活道路であり、通勤通学にも利用される地域の重要な路線であるが、道路幅員が狭小でバスなどの離合が困難な状況となっている。

また冬季には積雪もあることから、車両の通行に支障をきたしており、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道朝宮線)	庄原市	127,900	—	127,900	127,900
合	計	127,900	—	127,900	127,900